

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

このたび、宮城厚生協会坂総合病院倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2023年7月19日

施設名：(公財) 宮城厚生協会 坂総合病院

代表者氏名：病院長 富山 陽介

### 【研究課題名】

多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究

### 【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2036年7月

### 【試料・情報の利用目的・方法】

#### <目的>

間質性肺炎は、肺の間質を炎症や線維化病変の場とする疾患の総称で、国の難病に指定されています。中でも、特発性肺線維症(IPF)は、肺の線維化が進行性に悪化し、生存期間中央値が2～3年と予後不良の疾患です。

間質性肺炎の診断には専門的施設・専門医が集まって診断する事が重要とされますが、実際に本邦で実現可能な施設は限られており、未診断の患者さんも非常に多く、本邦における間質性肺炎の実態はわかっていません。

また、近年広義の人工知能による医療への応用が期待されており、従来の検査を組み合わせる事で、簡便かつ正確に間質性肺炎の診断や予後予測ができるツールを作成できる可能性があります。

#### <方法>

2018年5月以後に研究参加施設で新規に間質性肺炎を指摘されている患者さんの診療情報を収集して間質性肺炎の実態を把握するとともに、広義の人工知能を用いて解析を行います。

統計解析は京都府立医科大学で行われ、人工知能の開発検証は名古屋大学医学系研究科呼吸器内科学、理化学研究所、長崎大学で行われます

## 【研究対象者】

研究参加施設で2018年5月以後に新規に間質性肺炎を指摘され、  
2020年5月以後に本研究への参加と経過観察の実施について文書による  
同意が得られた方。

## 【研究に用いる試料・情報】

診療情報(カルテ)から、年齢、性別、生年月日、喫煙歴、原疾患、血液検査、画像検査、組織検査等の情報を収集します。

また、組織検査を受けられている場合は病理スライドを収集します。

(研究のデータ収集・登録自体は既に当院では終了しております。)

データセンターへのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的に行い、データは個人が特定できない形となります。対応表は各研究参加施設が保管・管理します。データセンターから各解析施設へのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、個人が特定できない形で電子的に提供され、専門的解析を行います。

## 【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する質問等ありましたら、病院の診療時間内に以下の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障のない範囲内で、研究計画書及び関連試料を閲覧することが出来ますので、お申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者様もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合は研究の対象にいたしませんので、下記連絡先までお申し出下さい。(その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。)

### ○研究代表施設・研究代表者

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学・教授 石井誠

### ○研究内容に関する問い合わせ・

試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合の連絡先

坂総合病院 呼吸器科 渡辺洋(当院研究責任者)、生方智

問い合わせ先：022-365-5175(代) 平日9:00~16:30 土曜9:00~12:00